

研究課題名：高齢者における術前の歯科医院受診による術後肺合併症の予防効果

1. 研究の対象

2018年8月1日～2024年3月31日までに当院において麻酔科管理下で手術が施行された18歳以上の患者さん

2. 研究目的・方法・期間

高齢者の周術期において誤嚥および肺炎は最も頻度が高く重篤な転帰をたどる合併症の一つです。患者さんの口腔内環境を改善させることは、歯牙損傷や栄養不足の回避だけでなく、口腔および咽頭分泌物の吸引によって引き起こされる術後肺炎の発症リスクを低減させると報告されています。その理由として、舌と歯の間にあるバイオフィルムを機械的に除去することで、呼吸器病原体を減少させるのに効果的であることが考察されています。

近年、院内の人工呼吸器関連肺炎の予防として、通常の口腔ケアと比較し、歯科医師による口腔ケアが効果的であることが報告されています。しかし、術前の口腔ケアが術後肺炎 (postoperative pulmonary complication; PPC)や死亡率を軽減させることができるかは依然として不明です。

当院では多職種連携による周術期外来を実施しており、並行して歯科地域連携を進めているところです。そこで、今回、診療記録データベースおよび麻酔記録データベースを使用して、術前の歯科受診の状況と術後肺炎および死亡率等の関連を調査し、症例の分析を行いたいと思います。

研究期間:研究実施許可日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子診療記録より下記の項目を抽出する予定です。

情報:

患者背景

患者名(イニシャル)、カルテ No.、年齢、生年月日、性別、身長、体重、肥満度(BMI)、ASA/PS 分類(米国麻酔科医学会の全身状態分類)、基礎疾患、ADL(日常生活動作)、喫煙歴、診療科、手術部位、麻酔時間、術中の in-out バランス、術中輸血の有無、PPC の発症率、入院期間中の死亡の有無、入院期間

歯科受診に関する項目

定期歯科受診歴の有無、術前の歯科受診歴の有無

試料:なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

佐賀大学医学部麻酔・蘇生学教室

〒840-8501 佐賀市鍋島町 5-1-1 Tel: 0952-34-2324(医局)

佐賀大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 講師 谷川義則(研究責任者)

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より2025年3月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載しているものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。